



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セブン&アイ・ホールディングス

コード番号 3382 URL <http://www.7andi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高執行責任者 (氏名) 村田 紀敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR部シニアオフィサー (氏名) 松本 忍

TEL 03-6238-3000

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	4,501,751	7.5	249,455	0.1	249,287	0.1	127,310	△0.6
26年2月期第3四半期	4,186,598	13.8	249,143	15.1	248,969	15.1	128,015	32.0

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 161,651百万円 (△16.0%) 26年2月期第3四半期 192,442百万円 (77.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	144.01	143.88
26年2月期第3四半期	144.88	144.77

※セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めたグループ売上:

平成27年2月期第3四半期: 7,648,730百万円(前年同期比 6.5%増)

平成26年2月期第3四半期: 7,181,647百万円(前年同期比 13.6%増)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	5,145,464	2,315,927	42.5	2,474.92
26年2月期	4,811,380	2,221,557	43.6	2,371.92

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 2,187,997百万円 26年2月期 2,095,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	33.00	—	35.00	68.00
27年2月期	—	36.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	36.50	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130,000	8.8	356,000	4.8	354,000	4.4	184,000	4.7	208.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めたグループ売上予想:

通期: 10,200,000百万円(前年同期比6.3%増)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社セブンネットショッピング
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	886,441,983 株	26年2月期	886,441,983 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	2,373,970 株	26年2月期	2,876,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	884,063,363 株	26年2月期3Q	883,563,997 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。
- 決算補足資料は当社ホームページ(<http://www.7andi.com/ir/library/kh/201502.html>)に掲載しております。また、本日開催予定の決算説明会にて使用する業績に関する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載いたします。

## 【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ① 当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）の業績概況

当第3四半期連結累計期間における小売業を取り巻く経済環境は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。個人消費におきましては平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動に加え、天候不順の影響により回復が遅れが見られました。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費環境の変化に対応し、付加価値の高い商品の開発や地域特性に合わせた品揃えの強化、接客力の向上に取り組んでまいりました。グループのプライベートブランドである「セブンプレミアム」やグループ各社のオリジナル商品につきましては、新商品の開発を推進するとともに既存商品のリニューアルを実施し、品質の向上と新しい価値の提案を図りました。なお、当第3四半期連結累計期間における「セブンプレミアム」の売上は6,070億円（前年同期比22.1%増）となり、年間計画8,000億円に対して順調に推移いたしました。

また、グループ横断的な取り組みとしてオムニチャネル戦略を推進しており、当第3四半期連結累計期間におきましては当社及び各事業会社におけるオムニチャネル推進部門の体制を強化いたしました。セブン-イレブン店舗におきましては、「街の本屋」として書籍や雑誌の受け取りサービスを強化するとともに、株式会社ロフトや株式会社赤らちゃん本舗等の商品の受け取りサービスを推進いたしました。さらに平成26年11月には、株式会社そごう・西武が運営するオンラインショッピングサイト「e.デパート」で取り扱っている靴の返品受付サービスを開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社の連結業績は以下のとおりとなりました。

営業収益は、主にコンビニエンスストア事業の増収と通信販売事業の新規連結により4兆5,017億51百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

営業利益はコンビニエンスストア事業と金融関連事業を中心に増益となり、2,494億55百万円（同0.1%増）、経常利益は2,492億87百万円（同0.1%増）、四半期純利益は1,273億10百万円（同0.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業収益、営業利益、経常利益はそれぞれ過去最高の数値を達成いたしました。

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと7-Eleven, Inc.におけるチェーン全店売上を含めた「グループ売上」は、7兆6,487億30百万円（同6.5%増）となりました。また、のれん償却前営業利益は2,635億40百万円（同0.2%増）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における海外子会社連結時の為替レートの影響により、営業収益を945億円、営業利益を21億円押し上げております。

（単位：百万円）

	平成26年2月期第3四半期		平成27年2月期第3四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	4,186,598	13.8%増	4,501,751	7.5%増
営業利益	249,143	15.1%増	249,455	0.1%増
経常利益	248,969	15.1%増	249,287	0.1%増
四半期純利益	128,015	32.0%増	127,310	0.6%減

為替レート	U.S.\$1=96.83円	U.S.\$1=102.93円
	1元=15.72円	1元=16.71円

#### ② セグメント別の営業概況

##### コンビニエンスストア事業

コンビニエンスストア事業における営業収益は2兆751億94百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は2,096億37百万円（同6.1%増）となりました。

セブン-イレブン・ジャパンは平成26年3月に愛媛県へ出店地域を拡大するとともに、JR西日本グループ及びJR四国グループとの業務提携による出店を開始するなど積極的な出店（1,175店舗）を推進した結果、同年11月末時点の店舗数は43都道府県で17,177店舗（前期末比858店舗増）となりました。商品面では、ファスト・フード等のオリジナル商品の開発やリニューアルを積極的に推進するとともに、「セブンプレミアム」及び「セブンゴールド」の品揃えを強化いたしました。ま

た、地域のお客様の嗜好に合わせた商品開発にも注力しており、同年3月には商品開発や店舗運営、店舗開発等が一体となった組織形態として「西日本プロジェクト」を設置するなど、これまで以上に地域に根ざした取り組みを推進いたしました。上質なセルフ式のドリップコーヒー「SEVEN CAFÉ(セブンカフェ)」につきましては、更なる品質の向上や2台目設置店舗の拡大により、販売数は同年11月末時点で5億杯と前期末時点の累計販売数の4億5千万杯を突破し、今期の年間販売目標を6億杯から7億杯に上方修正いたしました。加えて、同年10月には「セブンカフェ」との親和性の高い「SEVEN CAFÉ Donut(セブンカフェ ドーナツ)」の発売を関西地区の店舗より開始いたしました。

これらの結果、既存店売上伸び率は平成24年8月以来28ヶ月連続で前年を上回って推移いたしました。また、直営店と加盟店の売上を合計したチェーン全店売上は3兆312億83百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

北米の7-Eleven, Inc.は平成26年9月末時点で8,279店舗(前期末比13店舗減)を展開しております。店舗面では、都市部への出店を推進するとともに、店舗毎の収益性を重視し既存店や買取店の一部を閉店及び売却いたしました。販売面では、ホットフードなどのファスト・フード商品やプライベートブランド商品「セブンセレクト」の開発及び販売に注力したことにより、当第3四半期連結累計期間における米国内既存店商品売上伸び率(ドルベース)は前年を上回って好調に推移いたしました。なお、直営店と加盟店の売上を合計したチェーン全店売上は、商品売上が伸長したことにより、2兆1,317億85百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

中国におきましては、平成26年9月末時点で北京市に163店舗、天津市に55店舗、四川省成都市に72店舗を運営しております。

### スーパーストア事業

スーパーストア事業における営業収益は1兆4,871億74百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は94億52百万円(同44.6%減)となりました。

国内の総合スーパーである株式会社イトーヨーカ堂は、平成26年11月末時点で182店舗(前期末比3店舗増)を運営しております。販売面におきましては「セブンプレミアム」等の差別化商品の販売を強化するとともに、地域特性に合わせた品揃えに対応するため、西日本地域及び東北地域においてグループ力を活用した品揃えや店舗運営に注力いたしました。また、同年11月にはグループの総力を結集した「グランツリー武蔵小杉」を開店いたしました。セレクトショップ等の有力テナントを誘致するとともに、イトーヨーカドーの直営売場におきましては生鮮食品の対面販売コーナーやデリカテッセンを強化した食品売場に加え、衣料品のプライベートブランドをショップ化し専門店ゾーンで展開するなど、新しい試みに挑戦いたしました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加え天候不順の影響等により前年を下回りました。

国内の食品スーパーにおきましては、平成26年11月末時点で株式会社ヨークベニマルが南東北地方を中心に197店舗(前期末比4店舗増)、株式会社ヨークマートが首都圏に75店舗(前期末比1店舗増)を運営しております。ヨークベニマルでは「セブンプレミアム」や生鮮品の販売が好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は前年を上回りました。また、子会社の株式会社ライフフーズが製造及び販売する惣菜売場を既存店の改装に合わせて拡充し、即食・簡便ニーズや様々な生活シーンに応じた惣菜のメニュー提案を強化いたしました。

ベビー・マタニティ用品を販売する赤ちゃん本舗は、平成26年11月末時点で99店舗(前期末比6店舗増)を運営しております。

中国におきましては、平成26年9月末時点で四川省成都市に総合スーパー6店舗、北京市に総合スーパー7店舗をそれぞれ展開しております。

### 百貨店事業

百貨店事業における営業収益は6,271億56百万円(前年同期比0.3%増)、17億21百万円の営業損失となりました。なお、のれん償却前営業利益は22億45百万円(同2.1%減)となりました。

そごう・西武におきましては、「リミテッドエディション」を中心とした自主企画商品及び自主編集売場の拡大を進めるとともに、百貨店ならではの質の高い接客と、ファッションアドバイザーなどの専門販売員によるトータルアドバイス機能の拡充を図りました。また、平成26年11月には「グランツリー武蔵小杉」に衣料・雑貨・靴・アクセサリを展開する「西武・そごう武蔵小杉ショップ」を出店し、ライブ中継機能を活用して近隣店舗の商品を提案する「ライブショッピングサービス」等の新しいサービスに挑戦いたしました。当第3四半期連結累計期間における既存店売上伸び率は、消費税増税前の駆け込み需要に伴いラグジュアリーブランドや美術・宝飾品の販売が伸長したことに加え、同年4月よりカード会員向けに食品のポイント付

与サービスを開始したこと等により食品の売上が好調に推移した結果、前年を上回りました。

生活雑貨専門点を展開するロフトは、平成26年11月末時点で95店舗(前期末比6店舗増)を運営しております。

### フードサービス事業

フードサービス事業における営業収益は607億29百万円(前年同期比2.4%増)、人件費等の経費の増加により3億98百万円の営業損失となりました。

株式会社セブン&アイ・フードシステムズにおきましては、レストラン事業部門が平成26年11月末時点で476店舗(前期末比6店舗増)を運営しております。当第3四半期連結累計期間におけるレストラン事業部門の既存店売上伸び率は、夏場の天候不順による影響がありましたが、質を高めた新メニューが好調に推移したことや接客力の向上などにより前年を上回りました。

### 金融関連事業

金融関連事業における営業収益は1,337億66百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益は369億66百万円(同7.3%増)となりました。

株式会社セブン銀行における平成26年11月末時点のATM設置台数は、主にセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店に加え、空港や駅構内、商業施設等へのATM設置の拡大により前期末比1,162台増の20,556台となりました。また、当第3四半期連結累計期間中のATM1日1台当たり平均利用件数は、一部提携銀行の顧客手数料有料化の影響等により102.0件(前年同期差8.4件減)となりましたが、期間平均手数料単価は上昇いたしました。

カード事業会社2社におきましては、クレジットカード事業、電子マネー事業とも好調に推移いたしました。クレジットカード事業におきましては、株式会社セブン・カードサービスが発行する「セブンカード/セブンカード・プラス」と株式会社セブンCSカードサービスが発行する「クラブ・オン/ミレニアムカード セブン」の取扱高はショッピングを中心に前年を上回って推移いたしました。電子マネー事業におきましては、セブン・カードサービスが「nanaco」のグループ内外への拡大を積極的に推進いたしました。

### 通信販売事業

通信販売事業における営業収益は1,322億38百万円、52億28百万円の営業損失となりました。

株式会社ニッセンホールディングスは、収益性の改善に努めるとともにグループシナジー効果の実現に向けた取り組みを進めました。当第3四半期連結累計期間におきましては、グループ各社の店頭におけるニッセンカタログの配布に加え、イトーヨーカドー店内にインテリアショールームを導入いたしました。

### その他の事業

その他の事業における営業収益は407億94百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は28億5百万円(同38.3%増)となりました。

IT/サービス事業では、株式会社セブン&アイ・ネットメディアが株式会社セブンネットショッピングと平成26年3月1日に合併し、オムニチャネル戦略を強力に推進する体制を整備いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (連結財政状態)

総資産は、前期末に比べ3,340億83百万円増の5兆1,454億64百万円となりました。流動資産はコンビニエンスストア事業を中心とした事業の拡大に加え、季節要因と期末日の曜日要因などにより2,319億99百万円増加いたしました。負債は、主に季節要因による支払手形及び買掛金と預り金の増加等により、前期末に比べ2,397億13百万円増の2兆8,295億36百万円となりました。純資産は四半期純利益の計上と為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ943億69百万円増の2兆3,159億27百万円となりました。

（単位：百万円）

	平成 26 年 2 月期末	平成 27 年 2 月期 第 3 四半期末	増減
総資産	4,811,380	5,145,464	334,083
負債	2,589,823	2,829,536	239,713
純資産	2,221,557	2,315,927	94,369

為替レート	U.S.\$1=105.39 円	U.S.\$1=109.45 円
	1 元=17.36 円	1 元=17.73 円

（連結キャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上等により 3,010 億 31 百万円の収入となりましたが、前第 3 四半期連結累計期間においてセブン銀行における社債の発行による収入があったことなどにより、前年同期に比べ 533 億 88 百万円減少いたしました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に店舗の新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出等により 2,162 億 23 百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により 708 億 21 百万円の支出となり、前第 3 四半期連結累計期間において当社による社債の発行による収入があったことなどにより、前年同期に比べ 552 億 48 百万円支出が増加いたしました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 3 四半期末残高は 9,395 億 26 百万円となりました。

（単位：百万円）

	平成 26 年 2 月期 第 3 四半期	平成 27 年 2 月期 第 3 四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	354,419	301,031	△53,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233,023	△216,223	16,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,573	△70,821	△55,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	911,418	939,526	28,107

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成 27 年 2 月期の連結業績予想につきましては、平成 26 年 4 月 3 日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であった株式会社セブンネットショッピングは、平成 26 年 3 月 1 日付で当社の連結子会社である株式会社セブン＆アイ・ネットメディアを存続会社とする吸収合併により消滅し、第 1 四半期連結会計期間より特定子会社から除外されております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	792,986	928,238
受取手形及び売掛金	327,072	366,264
営業貸付金	66,230	70,545
有価証券	150,000	30,000
商品及び製品	198,847	217,195
仕掛品	210	32
原材料及び貯蔵品	3,060	3,059
前払費用	42,984	52,358
繰延税金資産	40,812	44,136
その他	282,880	425,456
貸倒引当金	△5,529	△5,731
流動資産合計	1,899,556	2,131,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	749,201	800,233
工具、器具及び備品（純額）	232,991	259,873
土地	681,651	712,030
リース資産（純額）	18,491	14,065
建設仮勘定	25,171	26,443
その他（純額）	2,482	1,838
有形固定資産合計	1,709,990	1,814,484
無形固定資産		
のれん	277,943	272,469
ソフトウェア	43,428	51,149
その他	146,576	147,598
無形固定資産合計	467,947	471,217
投資その他の資産		
投資有価証券	189,102	190,842
長期貸付金	17,868	16,636
前払年金費用	31,822	33,006
差入保証金	402,878	396,437
建設協力金	591	1,064
繰延税金資産	32,836	30,461
その他	65,552	65,841
貸倒引当金	△6,966	△6,206
投資その他の資産合計	733,685	728,083
固定資産合計	2,911,623	3,013,785
繰延資産		
創立費	14	3
開業費	186	119
繰延資産合計	200	122
資産合計	4,811,380	5,145,464



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	383,972	458,775
短期借入金	116,147	134,710
1年内返済予定の長期借入金	100,775	47,225
1年内償還予定の社債	20,000	59,999
未払法人税等	62,625	15,775
未払費用	97,543	129,844
預り金	154,795	248,427
販売促進引当金	16,909	22,168
賞与引当金	14,773	4,266
役員賞与引当金	372	207
商品券回収損引当金	2,932	2,493
返品調整引当金	205	172
銀行業における預金	403,062	428,015
その他	254,051	320,556
流動負債合計	1,628,167	1,872,636
固定負債		
社債	364,987	304,991
長期借入金	332,485	383,542
繰延税金負債	51,220	54,204
退職給付引当金	6,853	7,259
役員退職慰労引当金	2,019	2,040
長期預り金	55,046	56,952
資産除去債務	60,376	63,551
その他	88,666	84,357
固定負債合計	961,656	956,900
負債合計	2,589,823	2,829,536
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	526,850	527,470
利益剰余金	1,511,555	1,575,721
自己株式	△7,109	△5,875
株主資本合計	2,081,295	2,147,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,672	16,689
繰延ヘッジ損益	△6	76
為替換算調整勘定	3,785	23,915
その他の包括利益累計額合計	14,450	40,681
新株予約権	1,944	2,427
少数株主持分	123,866	125,502
純資産合計	2,221,557	2,315,927
負債純資産合計	4,811,380	5,145,464

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年11月30日）
営業収益	4,186,598	4,501,751
売上高	3,472,906	3,720,559
売上原価	2,745,399	2,929,268
売上総利益	727,507	791,290
営業収入	713,692	781,192
営業総利益	1,441,199	1,572,482
販売費及び一般管理費	1,192,056	1,323,027
営業利益	249,143	249,455
営業外収益		
受取利息	4,201	4,423
持分法による投資利益	2,685	476
その他	3,300	3,485
営業外収益合計	10,187	8,385
営業外費用		
支払利息	4,914	4,880
社債利息	2,118	1,997
その他	3,328	1,674
営業外費用合計	10,361	8,552
経常利益	248,969	249,287
特別利益		
固定資産売却益	624	2,004
補助金収入	1,881	—
受取補償金	—	686
その他	60	493
特別利益合計	2,566	3,184
特別損失		
固定資産廃棄損	6,406	11,070
減損損失	6,698	8,602
消費税率変更に伴う費用	—	2,030
その他	6,864	2,897
特別損失合計	19,969	24,601
税金等調整前四半期純利益	231,566	227,871
法人税、住民税及び事業税	93,139	94,943
法人税等調整額	591	△2,046
法人税等合計	93,731	92,897
少数株主損益調整前四半期純利益	137,835	134,973
少数株主利益	9,820	7,663
四半期純利益	128,015	127,310

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,835	134,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,510	6,055
繰延ヘッジ損益	0	199
為替換算調整勘定	49,013	20,338
持分法適用会社に対する持分相当額	82	85
その他の包括利益合計	54,606	26,677
四半期包括利益	192,442	161,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,258	153,541
少数株主に係る四半期包括利益	11,183	8,109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	231,566	227,871
減価償却費	108,498	126,690
減損損失	6,698	8,602
のれん償却額	13,896	14,085
受取利息	△4,201	△4,423
支払利息及び社債利息	7,033	6,878
持分法による投資損益(△は益)	△2,685	△476
固定資産売却益	△624	△2,004
固定資産廃棄損	6,406	11,070
補助金収入	△1,881	—
売上債権の増減額(△は増加)	△45,603	△38,264
営業貸付金の増減額(△は増加)	△2,940	△4,314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,948	△16,953
仕入債務の増減額(△は減少)	67,351	72,424
預り金の増減額(△は減少)	53,231	60,274
銀行業における借入金の純増減(△は減少)	3,100	3,000
銀行業における社債の純増減(△は減少)	55,000	△20,000
銀行業における預金の純増減(△は減少)	46,720	24,953
銀行業におけるコールローンの純増減(△は増加)	△11,500	△5,000
銀行業におけるコールマネーの純増減(△は減少)	△48,900	12,000
A T M未決済資金の純増減(△は増加)	△43,458	△63,985
その他	32,374	33,919
小計	447,133	446,347
利息及び配当金の受取額	2,681	3,059
利息の支払額	△6,997	△6,915
法人税等の支払額	△88,397	△141,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	354,419	301,031
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△226,245	△220,546
有形固定資産の売却による収入	3,460	7,551
無形固定資産の取得による支出	△11,428	△20,852
投資有価証券の取得による支出	△98,687	△22,552
投資有価証券の売却による収入	99,355	29,740
子会社株式の取得による支出	△446	△351
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	377
差入保証金の差入による支出	△20,390	△19,119
差入保証金の回収による収入	29,992	27,803
預り保証金の受入による収入	2,712	3,925
預り保証金の返還による支出	△2,805	△1,793
事業取得による支出	△8,088	△274
定期預金の預入による支出	△6,671	△7,119
定期預金の払戻による収入	10,414	10,237
その他	△4,192	△3,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233,023	△216,223

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△17,200	8,562
長期借入れによる収入	66,100	83,650
長期借入金の返済による支出	△44,430	△85,193
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	193,638	12,659
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△200,997	△12,659
社債の発行による収入	99,700	—
社債の償還による支出	△40,000	—
少数株主からの払込みによる収入	0	26
配当金の支払額	△58,025	△62,910
少数株主への配当金の支払額	△3,240	△3,209
その他	△11,117	△11,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,573	△70,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,507	4,107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	111,330	18,093
現金及び現金同等物の期首残高	800,087	921,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	911,418	939,526

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンビニ エンス ストア事業	スーパー ストア 事業	百貨店事業	フード サービス 事業	金融関連 事業	その他の 事業			
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,910,935	1,476,769	624,270	58,699	100,074	15,849	4,186,598	—	4,186,598
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	357	6,802	1,092	634	18,455	22,205	49,548	△ 49,548	—
計	1,911,293	1,483,572	625,363	59,333	118,529	38,055	4,236,146	△ 49,548	4,186,598
セグメント利益又は損失(△)	197,596	17,062	△ 1,673	237	34,451	2,029	249,703	△ 559	249,143

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△559百万円は、セグメント間取引消去および全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	コンビニ エンス ストア事業	スーパー ストア 事業	百貨店事業	フード サービス 事業	金融関連 事業	通信販売 事業	その他の 事業			
営業収益										
外部顧客への営業収益	2,074,675	1,481,196	625,460	60,158	110,322	132,083	17,852	4,501,751	—	4,501,751
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	518	5,977	1,695	570	23,444	154	22,942	55,303	△ 55,303	—
計	2,075,194	1,487,174	627,156	60,729	133,766	132,238	40,794	4,557,054	△ 55,303	4,501,751
セグメント利益又は損失(△)	209,637	9,452	△ 1,721	△ 398	36,966	△ 5,228	2,805	251,512	△ 2,057	249,455

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,057百万円は、セグメント間取引消去および全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものはありません。

(参考情報)

所在地別の営業収益および営業利益は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,715,401	1,384,560	86,636	4,186,598	—	4,186,598
所在地間の内部営業収益 又は振替高	583	97	—	681	△ 681	—
計	2,715,985	1,384,658	86,636	4,187,280	△ 681	4,186,598
営業利益又は損失(△)	218,416	31,576	△ 872	249,121	22	249,143

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,906,518	1,501,501	93,731	4,501,751	—	4,501,751
所在地間の内部営業収益 又は振替高	783	127	834	1,745	△ 1,745	—
計	2,907,301	1,501,629	94,565	4,503,497	△ 1,745	4,501,751
営業利益又は損失(△)	214,293	36,943	△ 1,781	249,455	△ 0	249,455

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 その他の地域に属する国は、中国等であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。